



特定非営利活動法人

日本伝統芸能教育普及協会

会報
12号
2015.春

春の日差しが心地よい季節となりました。皆様には、益々ご健勝のことと存じ上げます。昨年度よりむすびの会の活動の枠が広がりつつあり、現在はスタッフ一同、新年度の活動についてミーティングを重ねております。会員の皆様楽しんで頂けるようなイベントも企画中ですので、楽しみにお待ちしております！



5. 講座委託 『西洋×日本＜身体表現のヒミツ＞』

2015.3.14(土) 11:00~12:00 増上寺光摂殿講堂
NPO 法人全国てらこやネットワーク主催 てらこや創造プロジェクト

ー日本の伝統・文化を未来に伝えるー (参加者 70名)

デモンストレーター：川上愛以(井上バレエ団)、山本則孝(狂言大蔵流山本家)、藤間加賀美(日本舞踊) お話：森田ゆい先生(むすびの会)



バレエ・狂言・日本舞踊という滅多にない組み合わせでのデモンストレーションと身体づかいの解説を行いました。体験レッスンでは基本の構えや動きを会場の皆さんでトライ！それぞれの違いを体で感じる事が出来たかと思えます。

平成27年度 活動予定...

総会	日時：平成27年5月31日(日) 場所：大塚文庫	
日本人の身体づかい 小林寛道先生編 パート2	総会 13:00~ 講座 14:00~	※全日の出席でない場合も参加可能です！
文化祭	文化祭 15:10~	
茶の湯サロン	4月、7月、11月に予定	
伝統芸能ことはじめ その1 日本舞踊と狂言の巻	日時：平成27年9月5日(土) 14:00~開演 場所：横浜能楽堂	※詳しくはチラシをご覧ください。

この他、「文楽鑑賞+楽屋訪問ツアー」や「日本舞踊体験」なども企画中です！

NEWS

- ▶新入会者 30名…これからよろしくお願いします。
- ▶むすびの会 茶道部…4月から月1回で活動予定(現在部員3名)
- ▶FM 世田谷 栗原 美季 Cafe les R 番組内で「にっぽん文化豆知識」を放送中！
↑むすびの会企画委員の西内多恵子さんが出演しています！



編集後記

平成26年度より子供たちを対象とした催しだけでなく、新たに大人にもご参加いただけるイベントが企画されるようになりました！今年も会員の皆様にご参加いただけるような催しを企画致しておりますので、是非ともご参加くださいませ。(M.K)

子どもへの文化の伝承

日常生活様式、食材・食品、経済システム、物事の考え方など、身の周りのものが国際化の方向にある。人類に共通する文化をどのように次世代を担う子どもたちに伝達するかという事は、国際的にも重視され、国際機関(ユネスコなど)では、世界(文化)遺産といった形でその働きかけが具体化している。文化は、それぞれの国、地域、学校、家庭においても重要な意義をもっているといえる。



小林寛道
東京大学名誉教授
むすびの会副理事長

「子どもへの文化の伝承」というテーマの中には、「伝統芸能」や「歳時記」「礼儀作法」「遊び」「スポーツ」なども含まれる。我が国の文化の中で、能楽、文楽、歌舞伎等は「伝統芸能」といわれ、独特の家元制度によって受け継がれてきている。

家元の家柄に生まれた子どもたちは、ある種の精神的葛藤を伴いながら、幼少年期から修練を重ねてその伝統的文化を継承してきている。しかし、次世代やその次の世代を考えに入れた時、文化の伝承というものが家元制度のみによって継承することができるのかといった問題も提起されている。

現在、人間国宝とされている方をはじめ、伝統芸能にかかわる名人といわれる方々が、一般の子どもたちの指導にも直接関与して、子どもたちが伝統芸能に触れる機会を増やそうという努力がなされている。学校教育の中でも、伝統文化に親しむことが重要だとされているが、一般の学校教育の中では、その機会が少ない。

昔は、日常生活の中に、伝統芸能や伝統文化が取り入れられ、数少ない娯楽としての大人の楽しみとされたり、御稽古事としての、茶道、華道、習字、舞踊、などは、人間としての素養や、立ち振る舞いを学ぶ良い教育の機会となっていた。現代社会では、塾、ピアノ、水泳、体操、バレエ、など、習い事の内容が変化している。

子どもたちを取り巻く生活環境の中で、日本の伝統的な文化を子どもたちにどのように伝承することができるか、ということは大きな課題であろう。

日本の伝承文化を子どもたちに伝える活動に取り組んでいる本会の活動や、伝統芸能を支えておられる師範や家元の活動、伝承文化の内容をより広い範囲の方々に紹介することは、伝承文化とは何かを知り、礼儀作法や、遊び、スポーツ・身体文化といった身近な生活活動とのかかわりの中で、多くの人の心身の働きの豊かさ、広がり、深さ、を増す一助になると考えられる。

活動報告

1. 総会 参加者：(20名)

2014年5月31日(土) 明治大学駿河台校舎
第15回通常総会が行われました。詳細は議事録
(昨年発送)の通りです。



2. 講座主催

1) 「作品『道成寺』にみる表現の様々」 明治大学身体コミュニケーション
研究所共催 講師：森田ゆい先生(むすびの会) 小林敦子先生(明治大学身体コミュ
ニケーション研究所研究推進員) (参加者20名)

2014.5.31 (土) 14:00~15:30 明治大学駿河台校舎



事務局より

同じ作品を能、文楽、歌
舞伎舞踊、民俗芸能、組
踊、そしてフラメンコと
比較することで各ジャン
ルの特徴が際立ち、続編
希望が寄せられました。

2) 「日本人の身体づかい — 丹田・体幹・深部筋をキーワードに —

2014.11.30(日) 13:00~15:30 日比谷図書文化館 参加者(65名)

講師：中澤宗寿先生(茶道) 小林寛道先生(スポーツ科学) 西川祐子先生(日本舞踊)



参加者からの感想 (一部抜粋)

茶道では、丹田から動くことで心のこもった動きができる。日本の伝統的な武術
や舞踊では丹田を意識しながらなんば動作を行うが、この動作を取り入れた同側型
神経支配トレーニングは歩行能力を高め、脳と身体と心の相互作用を高める。バレ
エでは鳩尾を交点とし、右上半身と左下半身、左上半身と右下半身というラインを
つなぎ引っ張り合って動くが、なんば動作とは対照的な身体の使い方である。西洋
人と日本人の歩き方の違いは、この身体の使い方の原理の違いから生じるとも考え
られよう。以上、大変有意義な講演会だった。



事務局より

月刊誌『日本舞踊』1月号で本講座がレポートされました。
大好評でした！直ぐに満席となった為、会員の方の申込みが全員
受けられず残念でした。今後は会員優先申込み期間を設けます。

4. イベント主催

1) 文楽観賞と勘彌先生によるバックステージツアー

2014.12.5(金) 国立劇場小劇場 参加者：(19名)

講師：吉田勘彌先生(文楽人形遣い)



参加者より

文楽を鑑賞した後、普段は立ち入ることのない舞台裏をご案内いただきました。
客席から見ていた舞台の上まで移動し、6名の希望者には人形遣いを体験する時間
を設けていただきました。体験させていただいた人形は、本番に使用されていたも
の！先生方は軽々と人形を持ち上げて動かしていましたが、実際に体験してみると
かなりの重さがあり、3人で息を合わせて動かすということがどれだけ難しいこと
なのかということを実感しました。

2) 茶の湯サロン 第1回

2015.1.12(月) 品川区内 参加者(9名)

講師：中澤宗寿先生(表千家)



事務局より

お稽古ではない形で茶の湯の心に触れる機会を…ということで企画されました！
1月の第1回に引き続き、4月、7月、11月と年4回定期的開催する予定です。
各回募集情報はHP、Facebookにてご確認の上、お申し込みくださいませ。

参加者より

「釜の音、茶筴の音の美しさに魅了されました」「こんなにも近い距離でお話し頂け
ることはなかなかないし、何より先生ご自身が若く氣力に満ちていらっしやっ
たのが、とてもよかったです」「場の空気が時間とともに一つになる感覚が味わえて、
とても良い出会いができました」「お茶とは、無縁でしたが、ゆっくりとした時間が
流れ素敵なものだと思います」

9) 依頼内容：落語の実演と体験指導

2015.2.3(火) 浦安市立見明川小学校 参加者：小学4年生 (90名)

講師：三遊亭円左衛門師匠(真打)



生徒からの感想

最初に落語の始まったきっかけやいろいろなポイントを教えてくださいました。たとえば、江戸時代にあった刀のぬき方はせんすであらわして、刀はせんすより長いからまっすぐぬいて刀のさきとせんすのさきを下、上、下と見ることで長さをあらわしていると教えてくださいました。落語はそうぞう力を使うということも教えてくださいました。みんなてんしきの所ですごく笑っていてわたしもすごく笑いました。円左衛門さんの演ぎを見ているとそうぞうがしやすくてまた見れたらいいなと思いました。

●保護者さまからの感想●

私自身いままで落語に触れたことがなく、人生で初めての落語体験となりました。なんとなく難しいもの、古いものと勝手に思い込んでいましたが今の時代でもわかりやすく楽しかったです。今後は娘と落語に触れていきたいです。

落語について説明を受けている間は、うつむいたり、きょろきょろしたりしていた子供達が、落語が始まったとたん、前を向いて集中して聴いている様子がとても印象的でした。

10) 依頼内容：「おもしろ邦楽セミナー」出演に向けての日本舞踊の指導

2015.3.21(土) 横浜市立荏田西小学校 参加者：(小学生9名、卒業生2名)

講師：藤間多京先生(藤間流師範 希京会会主)



講師からの報告・生徒からの感想

横浜邦楽舞家協会主催「おもしろ邦楽セミナー」に10回目の出演となりました。今回は参加者も多く、会の主催者からも大変喜ばれました。生徒さん達は「とっても緊張したけど、踊ることができてよかった」、「綺麗な着物を着ることができて嬉しかった」、「着物を着ると背中がピンと伸びる気がした」、「違う学年の人と一緒にやっておもしろかった」、「来年もまた踊りたい」と口々に感想を述べていました。

3. 指導者紹介支援事業

1) 依頼内容：日本舞踊の観賞と体験指導

2014.6.7(土) みたけ幼稚園 参加者 (55名)

講師：藤間加賀美先生(宗家藤間流師範 かがみ会主宰)



事務局より

加賀美先生より「こんなに子どもたちが上手に出来るとは驚きました！」とのお言葉をいただきました。こちらの幼稚園の園児は素晴らしかったです。鏡獅子の観賞の後、ゆっくりした見得を切る動きの体験、お辞儀の指導などを行って頂きました。

2) 依頼内容：留学生対象の日本舞踊指導

2014.6.25(水) 明治大学 タイ・ラオスにて日本語学科に属する短期留学生 (10名)

講師：西川祐子先生(宗家西川流師範 公益財団法人日本舞踊振興財団評議員等)

講師からの報告

真面目に課題に取り組もうとする態度で、ヤットン拍子の仕上がりはとても良かったです。浴衣を着たということが、一番嬉しそうでした。

3) 依頼内容：夏休みスクール銭太鼓の指導

2014.7.28(月) 大田区立調布大塚小学校 夏休みスクール参加者 (18名)

講師：澤田晃先生(日本民族舞踊団代表)、鈴木愛美先生(日本民族舞踊団)



PICK UP

昨年に引き続きの指導であったこともあり、オリジナルの銭太鼓を持って参加して下さった生徒さんもありました！嬉しいですね。

4) 依頼内容：祭り太鼓の指導

2014.7.28(月)～29(火) 東京都大田区調布大塚自治会

講師：小山貢理乃先生(津軽三味線 小山流 貢理乃会会主) 参加者(45名)



事務局より

参加者の皆さんはお祭り本番でも大活躍だったとのこと！高学年は音が強い！

5) 依頼内容：夏休みスクール日本舞踊の体験

2014.7.29(火) 東京都大田区立田園調布小学校

講師：藤間加賀美先生(宗家藤間流師範 かがみ会主宰)

参加者 小学校1～2年生(12名)



事務局より

昨年大人気だった『アナと雪の女王』の曲で、古典の振付けをご指導くださいました。馴染みのある曲だからでしょうか？子どもたちはノリノリで踊ってくれました！

6) 依頼内容：カチャーシーの指導

2014.7.29(火) 大田区立調布大塚小学校 参加者(8名)

講師：大川安子先生(沖縄県八重山諸島研究)



事務局より

沖縄の踊り「カチャーシー」とくに八重山のカチャーシー「モーヤー」の指導。先生は簡単そうに手首を回していましたが、参加した生徒さん・保護者は苦戦していました。実際にやってみると難しいのですね！

7) 依頼内容：日本舞踊の指導

2014.9.20(土) 横浜市立市ヶ尾中学校 参加者：中学1年～3年(18名)

講師：藤間多京先生(藤間流師範 希京会会主)



参加者からの感想(一部抜粋)

日本の昔からの伝統文化に触れ、その楽しさや奥深さを知ることができました。今回の講座で学んだ事は、知識や経験として日常生活でも活かしていけたらいいと思います。(3年女子)

私が多京先生の話聞いて驚いたことは「春興鏡獅子」のビデオのえいそうをみたとき、一人の人が弥生と獅子の両方やるということです。この演目は全部で50分あると、先生はおっしゃっていました。そう考えると、この弥生の役をやる人は50分間、重い着物を着ながら踊るのかと考えると、すごく大変なことなんだということが分かりました。(1年女子)

8) 依頼内容：留学生対象の落語講座

2015.1.14(水) 十文字学園女子大学 (30名)

講師：三遊亭円左衛門師匠(真打)



留学生からの感想

落語は江戸時代の日本で成立し、現在まで伝承されている伝統的な話芸の一種です。一人で何役も演じ、語りのほかは身振り手振りのみで物語を進めます。道具は扇子と手拭しかありません。先生は私たちに体験させました。見るだけで面白いと思いますが、実際に話したら、とても難しいです。(リュウさん)

先生は饅頭を食べているのを演じました。とてもリアリティと感じました。饅頭を分けて、見て、食べるの声など、実物がない時は、こんな真実と同じような表現は、とても素晴らしいと思います(テキさん)